

地域企業紹介 その 18
久保田酒造株式会社

いい酒を しっかり造りつづける

緑区根小屋に久保田酒造の若き杜氏久保田晃さんを訪ねました。

久保田さんは京都の芸術大学で日本画を学び、2002年に「冬場のアルバイト」といった軽い気持ちで父親が経営する同社に入社。まったくの畑違いだったが最初の一年目から酒造りの面白さにハマリこの道に進むことに。日本酒をあまり飲まなかった久保田さんが入社早々飲んだお酒の中で大吟醸は飛びぬけて美味かったそうだ。「ここで自分の吟醸造りをしてみたい」そんな思いも久保田さんをこの道に進ませた一因だろう。

最初は岩手県から来ていた杜氏の元で経験を積み、2006年に杜氏となり、久保田酒造の酒造りを一手に担うことになる。

久保田酒造の創業は1844年。専ら醸造アルコール、糖類、うま味調味料が入った普通酒を製造していた。吟醸造りに魅せられた久保田さんが杜氏になったころから純米大吟醸、純米吟醸、純米酒への切り替えが進み、今では普通酒はほとんど製造していない。

吟醸造りは「洗米、蒸し、麴造り、酵母造り、仕込み、ろ過、火入れ、貯蔵・熟成、ビン詰め」どの工程も小ロットで徹底した温度と時間の管理が必要となる。米と水と酵母以外余計なものは一切使わない。そして、米は山田錦に代表される値段が張る酒米。吟醸造りとは手間とコストがかかるお酒なのだ。(2面につづく)

久保田酒造株式会社
代表取締役：久保田 博
専務取締役：久保田 晃 (杜氏)
所在地：相模原市緑区根小屋702
従業員数：10人 (酒造りの季節は、蔵人が増えます)
資本金：1,200万円 売上：8,000万円
事業内容：清酒製造・販売

久保田酒造株式会社

営業中P



今までで一番苦しかったこと:

杜氏になった平成18年の酒造り。半年間は朝5時から深夜遅くまで休日もなく仕事に明け暮れる毎日だったそうだ。一から教えてくれた南部杜氏が去り、すべての工程を一人で仕切るのは並大抵のことではなかったろう。

最近うれしかったこと:

神奈川産の酒米「若水」を使った特別純米酒が思い通りに仕上がりが、出荷できたこと。米と水と微生物が反応して生まれる酒は非常にコントロールが難しく、狙いとおりのお酒をつくることはとても難しい。

今後どんな酒造りを目指すのか:

今、日本酒の世界は大量生産される一升1,000円を切るような安い酒と原料も工程も徹底的にこだわった大吟醸酒や吟醸酒のような高級酒の二極化が進んでいる。久保田酒造は生産量の拡大は追わず、純米大吟醸や純米吟醸といったいい酒をしっかり造っていききたい。

最近、横浜の居酒屋や都内で久保田酒造の「相模灘」と出会うことがある。なぜか無性にうれしく誇らしい。高校野球で言えば地元の高校が甲子園に出場したようなものか。相模原の地で世界に誇れる銘酒「相模灘」をいつまでも造りつづけて欲しいものだ。

株式会社F-Design

ものづくりを通して、未来 (Future) を構想 (Design) する



藤本 恵介 氏

企業の一部門」として設計から生産までの一貫したソリューションを提供している。

藤本社長は、学生時代から愛車を分解・組立てるほどクルマが好きだった。就職した開発部門では、特装車の開発、東京モーターショー展示用車両の設計や量産車両のボディから外装・内装の開発を手掛けた。

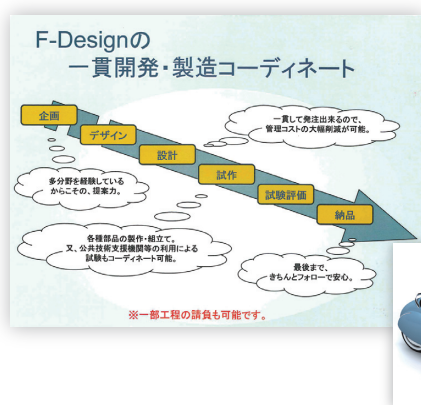
自動車関連でさらに現場に近い仕事を求めて転職、日本で1番人気のある自動車レース「SUPER GT」のレーシングカー、バイクレースの最高峰である「Moto GP」の二輪車開発や世界最高峰のF1(フォーミュラー1)用部品の開発など、厳しいスペックが要求される競技用自動車関連を手掛けることで設計技術を向上・蓄積させた。

2004年の独立創業以来、自動車関連で培った設計技術を駆使し顧客分野を広げ実績を積み重ねてきた。幅広い業界で機械設計や製造コーディネーターとして携わったからこそできる「機械設計」が武器である。

(株)F-Designの次の目標は、「自社製品」の開発と販売である。未来(Future)を描いている。

「新製品を開発したいが社内に設計部署がない、或いは余力がない、新しい設計を取り込みたい」という企業の方に株式会社F-Design(代表取締役 藤本恵介)を紹介します。

同社は、最先端の3DCADを駆使した機械設計を中心に企画から製造までの一連業務の実績・ノウハウを有し、言わば「顧客



- 事業紹介
【機械設計】
- ・自動車 (一般量産車両、特装車、レーシングカー等) のエンジン、車体、内装等の設計
 - ・医療機器、家電、アミューズメント機器の筐体、機構設計、デザイン
 - ・製造ライン、一般産業機械、各種治具の設計
- 【3Dモデリング】
- ・レーシングカーなどの風洞用モデル、製品形状確認用の光造形モデル、電子カタログ用の各種部品のモデルなどの作成

株式会社F-Design
代表取締役 藤本 恵介
〒252-0131
相模原市緑区西橋本5-4-21 SIC-1-202
TEL.042-707-7139 / FAX.042-770-9207
E-MAIL: f-design@f-ds.jp
URL: <http://f-ds.jp/>

T-BISC

Tokyo Business Incubation
Support Center

T-BISCがプレオープンしました。

東京タワー直下に、新たなビジネス拠点誕生

全国各地のビジネスインキュベータ(BI)や産業振興機関と機械振興協会がコンソーシアムを結成し、創業間もないスタートアップ企業や地域で頑張る中小企業を応援します。

そのため、シェアードタイプの活動拠点「T-BISC」を提供するとともにコンソーシアムメンバーのネットワークを活用してビジネスマッチングや企業のグローバル展開をサポートします。

地方に本社がある企業の首都圏での営業活動の拠点としてご活用いただくと便利です。浜松町まで徒歩15分、浜松町から羽田まで19分と好立地条件ですので、海外出張が多い企業の方々にもお勧めです。

運営組織 T-BISCコンソーシアム

一般財団法人機械振興協会、京都リサーチパーク株式会社、公益財団法人神戸市産業振興財団、株式会社さかい新事業創造センター、株式会社さがみはら産業創造センター、一般社団法人JBI A 有限会社GMP創房、財団法人東予産業創造センター

連携機関

独立行政法人中小企業基盤整備機構、台湾工業技術研究院、東北IM連携協議会

利用料金

	スタートアップ企業	地域中小企業	専門家・クリエイター
登録料(登録時のみ)	¥10,500	¥21,000	¥21,000
利用料	¥8,400	¥12,600	¥12,600
メールボックス・住所使用料	¥8,400	¥12,600	¥12,600
専用ロッカー使用料	¥2,520	¥2,520	¥2,520

(消費税込み、月額)

お問い合わせ先: さがみはら産業創造センター TEL. 042-770-9119 E-MAIL: info@t-bisc.jp

詳細

<http://t-bisc.jp>



住所:
東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 B3
アクセス:
東京メトロ日比谷線 神谷町駅下車 徒歩6分
都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車 徒歩10分
JR線 浜松町駅下車 徒歩15分
※駐車場のご用意はございません。
利用時間: 年末・年始を除く月曜日~土曜日、
午前9時から午後10時まで

壁画?!

今回は、とってもとってもとっても小さな旅(?)です。SICから歩いて4分ぐらいのところにとっても気になる「壁画」がありました。「いたずら書き」とは思いたくありません。いつもこの前で、子ども達がサッカーや野球の練習をしています。一瞬、「えっ!」と驚きます。この「壁画」の作者をご存じの方は、ご一報ください。また、皆さんがご紹介したいと思われる景色、壁画、古木、名水、神社の狛犬など教えてください。投稿大歓迎です。お待ちしております。



第3回SIC台湾ビジネスマッチングのご案内

事業期間: 2012年5月~2012年12月(事前・事後のヒアリングを含みます)
 台湾ビジネスマッチング実施日: 9月11日(火)~9月13日(木)
 予定訪問先: 台湾(主として台北、新竹・台南・高雄なども状況により訪問の可能性あり)
 募集企業数: 6社程度。原則1社あたり1名様ですが別途費用で参加可能です。
 対象企業: ○技術の売り込み、技術や製品の用途開発
 ○部品や原材料の調達先開拓、製品の生産委託先開拓、など
 申込期限: 2012年5月17日(金)までに、仮申込書と資料をご提出いただきます。
 詳しくは、SICホームページ(<http://www.sic-sagamihara.jp/>)をご覧ください。

関連情報のお知らせ

台湾を知る
 台湾金属加工企業訪問ツアーのご案内
 日時:平成24年6月24日(日)~26日(火)
 2泊3日 訪問先:台湾(台南市・高雄市)
 4社程度訪問予定 募集人数:6名 参加費用:120,000円(お一人様)渡航費・宿泊費を含みます。 募集期間:平成24年5月11日(金)詳しくは、SICホームページをご覧ください。

SIC 経営塾

「ニュービジネスリーダー育成セミナー」2012塾生募集中!!



「会社の将来のために、何が 필요한のか。」を学びます。

SIC 経営塾は、皆様のご支援により10周年を迎えることが出来ました。歴代の経営塾に参画された受講生の皆様、そして、受講生を派遣していただいた企業及び経営者の皆様に感謝申し上げます。

SIC 経営塾では、自社の現状を分析することにより、自社の将来のための課題を考え、どのような計画を立て、どのように実践していくかを、先端的な企業のケーススタディーや、最新の経営理論と実践を通して学びます。

今年11年目を迎える「SIC 経営塾」では、今年度も塾生の募集を開始いたしました。開講日は、6月23日(土)です。皆様のご応募をお待ちしています。

4月~ SIC イベントカレンダー

2012年4月~

2012年5月06日	SIC アントレ・インターン事前説明会
5月20日	SIC アントレ・インターンキックオフ
6月18日	協創プロジェクト交流会
6月23日	SIC 経営塾開塾 オリエンテーション
6月18日	SIC 職場リーダー養成塾開塾 オリエンテーション

SIC アントレ・インターンシップ

ひと足先に社会人



「SIC アントレ・インターンシップ」は、毎年8月に開催される「子どもアントレ」「ジュニアアントレ」の企画運営を大学生が中心となって行うものです。

このインターンシップは、一般的なインターンシップのようには1~2週間ほど企業に行き、仕事の現場を垣間見るものではなく、両アントレの核心となる講義を中心に企画運営をしていただいています。十分な準備が必要なため、期間は半年余りの長期になりますが、やり遂げた人には、得るものがたくさんあります。

今年もインターンシップの募集を開始いたしました。開催概要・募集要項等詳しくはSICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp>

※本アントレ・インターンシップ、子どもアントレ及びジュニアアントレは、地域の企業の皆様に支えられて行っている事業です。



子どもアントレ販売



ジュニアアントレ販売

入居企業を募集しています。

SIC 空室情報 (4月20日現在) SICまでお気軽にお問合せください。(賃料:共益費込み)

	部屋	空室数	賃料(月額)
SIC-1	ラボ	94.5㎡	1 235,515円
	セミラボ A	47.3㎡	2 134,295円
	セミラボ B	31.5㎡	1※ 93,975円
SIC-2	オフィス	50.2㎡	2 164,850円
SIC-3	ラボ(84㎡)+サブラボ(28㎡)	2	211,680円
	セミラボ A	56㎡	2 117,600円
	オフィス B	21㎡	1 48,510円

編集後記

『SICかわらばん』は2008年11月に創刊してから4年目に入っています。今回で18回目の発行となりますが、皆さんのお役に立てているでしょうか。これからも、SICは地域の企業さま、SIC入居企業さまをどんどん応援してまいります。

今回、よりお役に立てる『SICかわらばん』を目指し、皆さんにアンケートへのご協力をお願いしたいと思います。同封しておりますアンケート用紙に忌憚ないご意見をいただきたく、お願い申し上げます。



★ご意見・ご感想をお待ちしています。

(株)さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ウェブサイト <http://www.sic-sagamihara.jp/>